

何かを学ぶのに、
自分自身で経験する以上に
良い方法はない。

アインシュタイン

アルベルト・アインシュタイン (Albert Einstein 1879年- 1955年)は、ドイツ生まれの20世紀最大の理論物理学者で現代物理学の父と呼ばれる。特殊相対性理論、相対性理論が有名。光量子仮説に基づく光電効果の理論的解明によって1921年にノーベル物理学賞を受賞。

テレビ愛知で月から金曜日の毎朝5時45分から放映される経済ニュース「Newsモーニングサテライト」のCM(三和シャッター工業)で耳にしました。

私ども、セントラル税理士法人は、昭和31年2月に個人開業し、平成14年12月に法人化して本年度で通算62年目を迎えています。私はよく「経験はノウハウ」と口にしますが、果たして今までの経験で何を学んだのか自問自答する毎日です。

本年は私自身の節目の年であり、今後ゴーイング・コンサーンの源の若い力を育て、長く、長く皆様のお役に立ちたいと存じております。今後とも何卒ご厚情賜りますよう、よろしく願います。



セントラル税理士法人
総括代表社員
税理士 丹羽靖和

平成29年5月29日～

早期経営改善計画策定支援

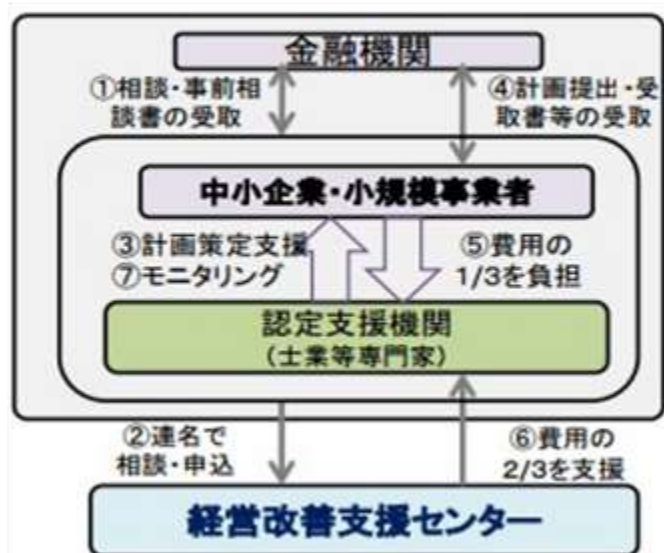
資金繰り管理や採算管理等の早期の経営改善を支援します

- 内容 国が認める士業等専門家の支援を受けて資金実績・計画表やビジネスモデル俯瞰図など早期の経営改善計画書を策定する場合、専門家に対する支払費用の2/3(上限20万円まで※)を国が負担します。
※モニタリング費用を含む

経営計画策定のチャンスです！！

- 特徴 ①条件変更等の金融支援を必要としない、簡潔な計画です。
②計画策定から1年後、フォローアップで進捗を確認できます。
③計画を策定することで自社の状況を客観的に把握できます。
④必要に応じ本格的な経営改善等のご支援も可能です。

利用イメージ



詳細をお知りになりたい方は 御セントラル・コンサルタンツ 藤川までお電話ください

TEL:052-483-5221

今後の資金繰りがきちんと回るか不安だ。

銀行提出用の計画書を作成したいという経営者様へ

○ ショウゲンバ 将軍の日 中期5ヵ年計画立案セミナー

Q.「将軍の日」とは・・・

戦国時代、将軍が戦場から離れた陣営で、戦局を見極め戦略・戦術を立てたように、経営者が日常業務から離れ電話も来客もない環境で、将来を見据えた経営計画を作るセミナーです。

社長を将軍にみたて、『将軍の日®』(商標登録)と、命名されました。

年間60会場で3,000社の企業が参加！！

将来の資金繰りを確認しながら、

確かな経営判断をしませんか？

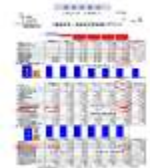
経営計画を立てたことがないという方もご心配ありません！！

「あんしん経営をサポートする会」所属の会計人が貴社の計画立案のお手伝いをいたします

将軍の日 3つの特徴



- ① 単なる経営計画の勉強会ではなく、自社の計画を1日かけて作成する「実践的な内容」です。社長ご自身の想いを1日かけて計画書に落とし込みます。サポーターがとなりで立案のサポートをするため立案自体が初めてという方でもご参加いただけます。



- ② キャッシュフローベースの「精緻な計画書」を立案できます。専用ソフトの活用で、損益計算書に連動した貸借対照表とキャッシュフロー計算書が瞬時に作成可能です。金融機関からの信用力が増します。



- ③ 自社の課題と強みに即した「数値倒れない計画」を作成できます。いきなり数値計画を立案するのではなく、自社の風土分析、「事業領域」・「事業規模」を初めにさせていただきます。数値の裏付けがはっきりとした計画書が作成できます。

経営計画書

わずか **1** 日で完成します

将軍の日 1日の流れ 10:00~18:30

午前	<ul style="list-style-type: none"> 経営計画の必要性 自社分析(販売力・体力分析・強み/弱みの整理) 経営理念作成(企業の目的・使命・価値) 中期経営目標作成(5年後のあるべき姿)
午後	<ul style="list-style-type: none"> 売上計画作成(売上区分別の売上・限界利益目標の設定) 経費計画作成(人員、販売活動、製造費etc) 設備投資計画作成(回収・支払・在庫・投資・借入・返済etc) 改善計画作成(何通りもの計画を比較し最善の計画を作成) 当期目標設定(中期目標を実現する為の初年度の目標設定) 目標達成のための経営サイクル確立について解説 経営計画書(完成)の確認

過去参加者の方々から
ありがたい声を
沢山いただきました。



過去参加者様の声 (一部抜粋)

過去いくつものセミナーに参加しましたが、それらに比べて驚くほど実践的な内容でした。

利益を待つ姿勢から
“素直に仕掛ける”
経営へ一新！
手厚いサポートのおかげで
納得できる決断ができました

新事業に進出する場合の
5年後の売上増や利益、
キャッシュフローが簡単
かつ迅速にシミュレーション
できました。



セントラル税理士法人



いよいよ夏本番ですね。でも既に「夏至」を過ぎているので昼間の日照時間は、既にだんだんと短くなっています。

ところで、この「夏至」って、「春分の日」や「秋分の日」、「冬至」と比べて何かイベントをするとかのイメージが少ないですね。「春分の日」「秋分の日」といえば、祝日にもなっており、先祖を供養し、春は「ぼたもち」を食し、秋は「おはぎ」を食すイメージ。「冬至」といえば、柚子湯に浸かって、「南瓜」を食すイメージがあります。

では、夏至は？と思い調べてみると、全国的に浸透している風習は無いようです(地域ごとに風習が残っているところはあるみたいですが)。これは、夏至の時期が、田植えの時期と重なり忙しく特別な行事や食をとる余裕がなかったのではないかと、言われているそうです。

春夏秋冬、なぜ夏だけ？と思ったのですが、やはり理由はあるものなのですね。



正木



亀井

「働き方改革」。最近よく聞く言葉ですね。少子高齢化による人手不足に伴い働き方の見直しの必要性が高まっています。時間外労働の上限、同一労働同一賃金、育児・介護との両立、高齢者の就業促進、外国人の受入れ等々、働き方改革実現に向け取り上げられる課題はたくさんあります。経営者の方にとってみれば大変頭の痛い改革かもしれませんがこれからの人手不足によりこの改革に取り組まなければ事業継続が難しいとも言われています。どうすれば事業が巧まわるのか？何が必要なのか、無駄なのか？どうすれば働けるのか？問題点を把握して運用していくことが求められている気がします。私自身、働き方改革というより働き方の“意識”改革。意識(気持ち)がないと実現しない改革ですね。

花火大会は真夏の夜空を華やかに彩る大好きな行事で、まだ明るい夕暮れからドーン！言う低い響く音を聞くと子供の頃からワクワクしました。最近は夏季だけに限らずクリスマスや、大晦日、テーマパークなどでは、ほぼ毎日見ることができるのですが、やはり夏の風物詩だと思います。

この中村区に住み続ける主人は「子供の頃は熱田祭りや、矢田川の花火大会が見ることができた。今は高い建物が多くなり遠くがだんだん見ることができなくなった」と言っていました。

特に東側には名古屋駅を中心として高層ビルが立ち並び都会らしくなってきました。良くも悪くもどんどん見慣れた風景変わっていくのは少し寂しく思います。

人も都市も進化してゆくのは他無得ないのですが、少しでも良い方向に変わって欲しいものですね。



河岸

事務所のカーペットが新しくなりました！



ハイクラスの
ホテルみたい

落ちついた
ダークブラウン
です。



お近くにお越しの際は
お気軽に
お立ち寄りください

チーン♪